

水泳部 稲垣良祐さん

高森町の報告・激励会に出席

2023年(令和5年) 9月29日 金曜日

南信州新聞



右から安藤さん、高野さん、稲垣さん、瀬口さん

高森町

高校生の活躍 町が元気に

全国大会出場などの4人を激励

高森町は27日、全町出身の高校生4人。玄町長は「明るい話
国や東海、北信越なを迎え、報告・激励 題を提供していただ
どの舞台上で活躍する 会を開いた。壬生照 きうれしい。町の中

に大きな舞
台で活躍す
る若者がい
ることは、
町を元気に
してくれ
る」と喜び、
努力をねぎ
らうことも
に、さらな
る活躍へエ
ールを送っ
た。

町役場を
訪れたの
は、木曾清
峰高校3年
の瀬口皓士
さん(17)、
飯田OID
E長姫高校
3年の稲垣良祐さん
(同)、飯田風越高校
3年の高野葵さん
(同)、同2年の安藤
瑞貴さん(16)の4
人。

瀬口さんは県高校
総体水泳競技大会で
50㊦自由形、100
㊦自由形の2種目で
優勝。8月の全国大
会に出場した。稲垣
さんも県高校総体水
泳競技で100㊦背
泳ぎ、200㊦背泳
ぎ、4×100㊦メ
ドレーリレーで優
勝。10月14日から千
葉県で開催される
「第44回JSCAフ
ロック対抗水泳競技
大会」に、長野・新
潟県の代表選手とし
て出場する。

場し、B部門(30人
以下で自由曲のみ演
奏)で金賞を受賞。
同月27日に静岡県で
開かれた東海吹奏楽
コンクールでは銀賞
を受賞した。高野さ
んはユーフォニア
ム、安藤さんはトロ
ンボーンを演奏し
た。

また、高野さんは
「2年連続で東海大
会に出られた経験を
大学に行っても生か
したい」、安藤さんは
「自分にとって最後
の年となる来年も悔
いのない結果を残し
たい」と話した。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

茂木GPに向けて地域の力を結集

茂木グランプリで活躍を

OIDE長姫高 阿智精機が部品寄贈



阿智精機が原動機部に部品を提供

飯田OIDE長姫高校原動機部の協賛企業のア智精機(熊谷雄一社長)は19日、3村駒場には19日、3輪電気自動車4台分の前輪ハブ計8基を同部に寄贈した。10月15日にモビリティリゾートもてぎ(栃木県)で開く「2023 Ene-1 茂木グランプリ」の大会で使用する。

同部は、充電式単三乾電池40本を動力にする同大会や鈴鹿グランプリなどに出場し、常に高い成績を残すなど活躍している。

車体の部品の多くは校内の機材を利用して部員自身が製作するが、高い精度が求められる重要な部品は地域の協賛企業が製作・提供している。阿智精機は現在使用している車軸も提供した。

ハブは車軸を支える重要な部品。中心軸のわずかなずれで車輪の回転にゆがみが生じる。内部に部品を組み込むため高い精度が必要で、校内の汎用機での製作は難しかった。

7月の文化祭で学校を訪れた熊谷社長に、同部の原簿弥部長がハブにゆがみが生じてきたと伝え、阿智精機が製作を快諾した。

軽量で強度があるアルミ合金を使用し、同社の複合旋盤で加工。同軸・同芯電装・設計などを手掛ける。11月に飯田市龍江の旧シチズン工場に拠点を移転し、社名を「ZES TIA(ゼスティア)」に変更する。

鈴鹿グランプリを現地で観戦したという熊谷社長は「非常にレベルの高いレース。皆さんの車の一部、青春の一部として使われることは光栄だ。これからも頑張ってほしい」と語った。

原部長は「素晴らしい部品を提供いただきありがたい。これを使って茂木で日本一を取りたい。これからも応援よろしくお願いします」と感謝した。

阿智精機は、食品機械・医療機器の部品加工・組み立て・電装・設計などを手掛ける。11月に飯田市龍江の旧シチズン工場に拠点を移転し、社名を「ZES TIA(ゼスティア)」に変更する。

2023 Ene-1 MOTEGI GP 期日 2023年10月15日(日) 開催
 会場 モビリティリゾートもてぎ 西コース (栃木県芳賀郡茂木町)
 本校エントリー KV-40 Div1(車両重量制限なし)部門 2台
 KV-40 Div - Next(車両重量制限あり)部門 1台
 KV - Moto(二輪車)部門 1台

KV-40



単3充電電池 40 本で動く

手作りの『電気自動車』

3 輪以上の車体に動力源となる単 3 充電電池 40 本と、モータを載せた車体をドライバーが運転する。小さな車体には、空力や転がり抵抗が考えられた車体・部品や、ロガー・通信機などバッテリーマネジメント用の電子機器が搭載されている。車体や機器・部品は市販されていないため手作りとなる。

KV-Moto



単3充電電池 40 本で動く

自転車を改造した『電動自転車』

2 輪の車体は、市販自転車のフレームを使用し、20 インチ以上のリムホイールを組み合わせ製作する。動力のモータとタイヤはチェーンやギアで接続するチームや、モータを直接タイヤに接続するチームがある。空力のことを考え、ライダーたちは前傾姿勢で運転を行う。

■ 開催カテゴリー・クラス

KV-40、KV-Moto とともに、共通のカテゴリー分けて、総合順位、クラス順位が決定する。

	開催クラス	車両規則	乗員重量
Div1	a: 一般 b: 大学・高専・専門 c: 高校 d: 中学	・車両重量規則なし	53kg 以上
Div-Next	b: 大学・高専・専門 c: 高校 d: 中学	・最低車両重量規則あり KV-40 : 35kg 以上 KV-Moto : 15kg 以上	b: 55kg 以上 c: 53kg 以上 d: 47kg 以上

※車両・乗員重量に満たない場合、競技に応じたバランスウエイトの搭載を行う

■ 競技内容

KV-40、KV-Moto とともに、「タイムアタック（予選）」と「決勝レース」の 2 つで構成される。大会結果は、「タイムアタック（予選）」の順位によるポイントと「決勝レース」の順位によるポイントで決定する。

「タイムアタック（予選）」

西コース 1 周のタイムアタックを行い、「決勝レース」への出場権と、タイム順によるスタートグリッド順を決定する。指定時間までに完走できなかった場合は「決勝レース」のポイント対象外となる。

「決勝レース」

決勝レースでは、各競技・カテゴリーに応じた時間の耐久レースを行う。

KV-40 Div-1	: 60 分
KV40 DivNext	: 45 分
KV-Moto 各 Div	: 30 分

■ 飯田 OIDE 長姫高校 原動機部 大会結果（昨年度）

KV-40 Div1		KV-40 DivNext	KV-Moto DivNext
WISDOM a	WISDOM	WISDOM II	WISDOM - BIKE
高校生部門：2 位 総合：5 位	高校生部門：6 位 総合：12 位	高校生部門：1 位 総合：1 位	高校生部門：1 位 総合：1 位

高校野球秋季大会 県大会へ

2023年(令和5年) 9月19日 火曜日 南信州新聞

風越、飯田、〇長県へ

高校野球の南信地区予選

第149回秋季北信越高校野球県大会南信地区予選は16日に準決勝、17日に決勝と順位決定戦を行った。3位決定戦は風越が11-7で飯田を下し、復活代表決定戦はOIDE長姫が6-0で駒ヶ根工を退けた。

決勝は赤穂が7-2で諏訪清陵を破り、1958年以来64年ぶりの優勝を飾った。

上位6チームが県大会(23日開幕・上田県営、長野五輪、長野県営)に出場する。

▽準決勝
諏訪清陵 00103131110
飯田 01110010115

▽決勝
赤穂 11101110027
諏訪清陵 00000100012

▽本場福島(赤)
▽②酒井、会田2
(赤)松田、佐々木

▽池内
▽本場福島(赤)
▽②酒井、会田2
(赤)松田、佐々木

高校野球



県大会1回戦 9月23日(土) 長野オリンピックスタジアム 対 松商学園

飯田OIDE長姫 1対8 松商学園 8回コールドで敗退

掲載記事提供: (株)南信州新聞社



統合創立十周年記念 校歌碑除幕式

統合10周年記念で校歌碑



校歌碑の除幕式

OIDE 長姫高 同窓会寄贈「シンボルに」

今年で統合から10周年を迎える飯田OIDE長姫高校で、同窓会が学校に校歌碑を寄贈した。13日には除幕式があり、完成した校歌碑が披露された。

同校は2013年、飯田長姫高校と飯田工業高校の統合により開校。校歌は飯田市出身の作曲家羽場仁志さん(60)が作詞作曲を手掛けた。校歌碑は昇降口近くに設置。高さ約1・5メートル、幅約2メートル、奥行き約0・8メートル、地元産の花こう岩を使用した。除幕式には学校関係者や同窓会、施工会社、羽場さんらが出席。多くの生徒も見守る中で幕が取り除かれた。

あいさつで須山和彦同窓会長(75)は「同窓会で校歌碑がないのは寂しいとの声があり、設置した。校歌だけでなく校歌碑も大切にして学校のシンボルにしてほしい」と語った。松原均校長は「校歌は生徒だけでなく卒業生や地域住民にとっても心の支え。立派な碑を寄贈していただきありがたい」、生徒会長の福澤麗さん(17)は「私は『空に虹が架かる』という歌

詞が好き。この歌詞のように学校の未来に虹が架かってほしい」とそれぞれ感謝を伝えた。羽場さんは楽曲に込めた思いなどを語り「10年、20年といわず100年先もこの地に残る校歌となってほしい」と願った。同窓会は校歌碑のほか、ワゴン車と吹奏楽部用の校歌の楽譜を寄贈。除幕式では吹奏楽部が初めての校歌演奏を披露した。10月7日には実行委員会主催の統合創立10周年記念式典が飯田文化会館で開かれる。

統合創立10周年記念式典 令和5年10月7日 午後1時30分より 飯田市文化会館
午後2時30分より 生徒発表

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

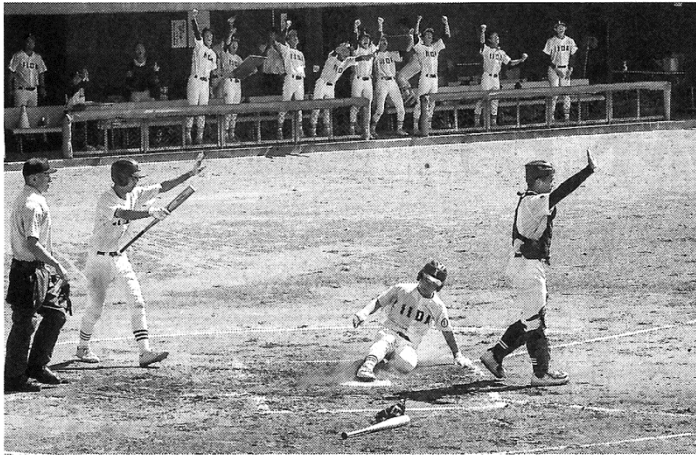


高校野球秋季大会

南信地区予選 準々決勝へ

○長、飯田8強入り

高校野球の南信地区予選



伊那北を圧倒する飯田

第149回北信越高校野球県大会南信地区予選は2、3日、1回戦4試合と2回戦4試合を綿半飯田野球場などで行った。飯伊勢は南信連合(阿智、阿南、富士見、茅野、岡谷東、箕輪進修)が9-7で諏訪実を退け、風越は9-0下伊那農にコールド勝ち。2回戦のOIDE長姫と飯田はそれぞれ準々決勝進出を決めた。

9日の2回戦で南信連合は東海大諏訪、風越は松川とそれぞれ対戦する。10日の準々決勝でOIDE

長姫は赤穂―高遠、飯田は南信連合―東海大諏訪の勝者と当たる。

▽1回戦

南信連合

1210022100
00313000079

諏訪実

(連合) 征矢、小原、竹村

―羽生、征矢

(諏実) 黒岩―原田

▽③羽生(連) 黒岩、遠藤

(諏)

▽②青木、五味(連) 原田

(諏)

風越

020002329
000000000

下伊那農

(七回コールド)

(風越) 後藤、宮沢―池内

(下農) 佐々木、原、近藤

―伊藤

▽③北村(風)

▽②池内(風) 熊谷嘉(下

農)

▽2回戦

OIDE長姫

0200094
0000020215

岡谷工

(六回コールド)

(O長) 畔上、平沢―古山

(岡工) 石川、高田、小口

稔、石川―高田、坂本、高

田

▽本⇩木下(O)

▽③木下(O)

▽②上原、南島(O)

伊那北

000000
102007×100

飯田

(五回コールド)

(伊北) 宮沢、園田―橋爪

(飯田) 松村―赤羽

▽②今村拓2(飯)

高校野球



中央図書館でのインターンシップ で本校生も読書会を体験

南 信 州 新 聞

2023年(令和5年) 9月3日 日曜日

いつか読みたいを共有 駅前図書館で「積ん読書会」

いつか読みたいと思っていたり、読みかけて途中で挫折したりした本「積ん読」を持ち寄って意見交換する「積ん読書会」が1日、飯田市東和町の飯田駅前図書館であった。高校生から一般までの男女7人が参加。「積ん読」にまつわるエピソードや、本に対する思いを共有した。

昨年5月にオープンした同館は、市立中央図書館のサテライト図書館。高校生を中心に多くの人に利用してもらおうと、本年度から2カ月に1度のペースで多彩な企画を繰り広げている。

市立中央図書館の職員が、「積ん読」について広辞苑などから用語を説明。江戸時代の資料に登場していたことに触れ、長く日本人の身近にある言葉であることなどを伝えた。



駅前図書館であった読書会

参加者は持参した「積ん読」を順に紹介。「漢字が難しい」「内容が重くてなかなか読み進められない」など、本に関するエピソードを話した。参加者の1人が、持参したガルシ

1日に駅前図書館で開催された「積ん読書会」には、中央図書館でインターンシップを行っていた本校の2年生も参加していました。

社会基盤工学科の国道美化活動 道路愛護で国交省表彰

2023年(令和5年) 9月2日 土曜日

南信州新聞

OIDE 長姫高 国交省の道路愛護表彰

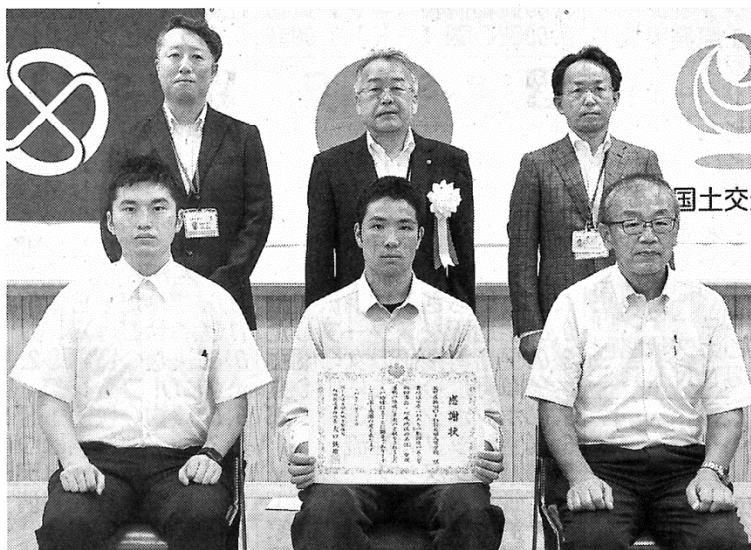
10年にわたって国道153号での美化活動を続ける飯田OIDE長姫高校が、国土交通省の「道路愛護飯田国道事務所長表彰」を受賞した。8月31日には校内で表彰式があり、代表生徒が飯田国道事務所の大口鉄雄所長から感謝状を受け取った。

し、年度末の課題研究発表会で成果などを発表している。本年度は6人で活動。メンバーを代表して感謝状を受け取った熊谷琉央さん(17)は「先輩が受け継いできた活動をこれからも続けて、そして後輩に残していけるよう頑張りたい」と語った。

国道の美化活動は2013年に始め、毎年、社会基盤工学科の3年生が課題研究として取り組んでいる。名古屋東交差点から別府交差点までの約2・3キロでゴミ拾いや草刈りを行う。年8回ほど作業

これまでの作業では大きいゴミはなかったものの細かいゴミが目立ったという。「清掃活動を通してゴミ捨てをする人を減らしていきたい」と力を込めた。大口所長は10年にわたる活動に感謝を

10年にわたり国道美化



飯田OIDE長姫高校が道路愛護表彰

伝え「ごみのない歩道は地域住民のみならず、観光客にもきれいな街という印象を与えてくれる。表彰を契機に活動を継続してほしい」と呼び掛けた。国交省は毎年8月を「道路ふれあい月間」と定め、道路愛護などに取り組む団体を表彰している。



建築学科インターンシップ

県飯田建設事務所 実現場で学習



県発注工事現場を見る建築学科の生徒

実際の現場で学ぼう

OIDE
長姫高校

建築学科インターンシップ

飯田OIDE長
姫高校建築学科の
2年生35人は8月
31日と9月1日の
両日、地元企業や
行政機関などを訪
問して業務を体験
するインターンシ
ップを行った。

このうち、県飯
田建設事務所建築
課では、両日各4
人の計8人を受け
入れ、飯田合同庁
舎内で実施するト
イレ改修工事、県
補助事業の住宅の
建設工事などの現
場見学を行った。

午前中は、県の
業務を体験。県組
織の概要や仕事と
内容を聞き、建築
確認や耐震改修、
住宅補助事業、県
営住宅関連などの
事務処理の業務も
体験した。

午後からは現場
見学。このうち、
合庁トイレの改修
工事では、施工者
のうち、吉川建設
現場代理人の小林
隆さんから説明を
聞いた。

設計図の分厚い
冊子を見せられ、
驚いた生徒たち。
小林さんは「設計
図はただの参考
書。職人さんは全
部寸法が入った図
面でない」と語
り、細かい寸法を
加えた施工図に全
て書き直す作業を
解説した。

施工図は、設計
者や発注者と打ち
合わせを重ねて練
り上げる。扉など
の備品や貼り付け
るシール表示など
も、県工事では既
製品を使うのでは
なく、全てその場
に適用したものを提
案して承認を受
け、製作するとい
う。

実際の業務では
パソコンを使って
CADでの製図が
必須になること
や、資格取得には
手作業での製図が
必要など、学習に
ついてもアドバイ
ス。実際に庁舎内
の現場を見なが
ら、工事の様子を
確認した。

掲載記事提供：(株)南信州新聞社